

西中学校図書館 図書館だより



現在、休校期間の為、学校図書館も閉館しています。皆さんお元気ですか？体調には十分気を付けて過ごしてくださいね。皆さんに会える日を楽しみにしています。学校再開後に、皆さんが学校図書館の本を活用できるように準備をすすめています。

～学級文庫～

- ・国語辞典 1冊 (三省堂)
- ・漢和辞典 2冊 (学研)
- ・英和辞典 2冊 (学研)
- ・学級文庫 65冊 (9分類)



学級文庫を全学年全クラスに設置します。語彙力向上、学習法向上に是非役立ててください。

～読書関係コンテンツの紹介～

休校期間が延長し、読む本がなくて困っている人もいると思います。参考になるホームページを紹介します。インターネットやスマホを利用できる人は、お家の人と相談の上、検索してみてもいいでしょうか。

・伊丹市立図書館ことば蔵ホームページ
「おうちで楽しもう！」

・経済産業省ホームページ
「# 学びを止めない未来の教室 中学生(個人向け)」

・国立国会図書館ホームページ
「国際子ども図書館」

☆休校期間に、お家にある今まで読んだことのある本を読み返してみるのもおすすめです。再発見することもあるかもしれません。学校再開後に読みたい本をメモに書き出しておくのもおすすめです。

～第66回青少年読書感想文・課題図書～



『天使のにもつ』
いとうみく/著
丹下京子/絵
重心社

『11番目の取引』
アリッサ・ホリングスワース/作
もりうちすみこ/訳
鈴木出版

『平和のバトン』
広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶
弓狩匡純/著
くもん出版

西中学校図書館

図書館だより



～読書の世界冒険旅行～

皆さんにたくさん学校図書館の本を読んでもらうために「読書の世界冒険旅行」を希望者に発行します。貸出冊数2冊につき地図の上を1コマ進みます。すぐろくのコマが、20ヶ所あるので40冊読むと世界1周となります。読書冊数に応じて世界を巡り、その国にある有名な地名を紹介します。2年生、3年生は昨年度の貸出履歴で発行することもできます。学校再開後に、興味のある人はお知らせください。

見本

〇年〇組 〇〇 〇〇 さんへ

あなたは、〇年生になって図書館の本を20冊借りました。これからも、たくさん本を読んでください。



世界冒険旅行 1周目、旅行中

読書で世界1周、2周、3周を目指そう！見本を図書室に掲示しています。

希望者は学校司書に申し出てください。「世界冒険旅行」を印刷またはパソコンの画面で紹介します。



5月号No.1でお知らせした課題図書の詳細です。あらすじを読んで、どの本を読むか参考にしてください。貸出開始日は後日お知らせします。



『天使のにもつ』

いとうみく/著
丹下京子/絵
童心社



風汰は中学2年生。職場体験の希望先が最後まで決まらずにいたが、最終的に軽いノリで選んだのは地元の「エンジェル保育園」だった。

ちょんまげ姿の奇抜ないでたちで職場体験に臨む風汰。慣れないことの連続だが、子どもたちと向き合う中でいつの間にか園の人気者となり、欠かせない存在となってゆく……。等身大の日常の中で、みずみずしい感性とほっこりとした温かさが描かれる少年の成長物語。

『11番目の取引』

アリッサ・ホリングスワース/作
もりうちすみこ/訳
鈴木出版



アフガニスタンからの難民のサミは祖父と米国で2人暮らし。ある日、2人の生活を支える伝統楽器ルバーブを泥棒に奪われ、楽器店に売り飛ばされた。700ドルあれば買い戻せる。ただし期限はわずか4週間。サミは友だちの助けを借り、キーホルダーを元手に物々交換の「取引」を重ね、お金をためる。その間にも、故郷での過酷な体験の記憶が突然、サミを襲う。

果たしてサミはお金を用意できるのか。「11番目の取引」とは。

『平和のバトン』

広島の高中生たちが描いた 8月6日の記憶
弓狩匡純/著
くもん出版



4組の被爆証言者とその内容を絵画で表現する高校生のエピソードで構成されている。この活動は、「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトとして、2007年に始まった。広島市の基町高校で学ぶ生徒が、74年前の被爆の「記憶」を丁寧に聞き取り、卓越した描写力と表現力で「記録」として1年をかけて1枚、絵に残してきた。

絵画の制作過程で得られた高校生の心の動きを通して、次世代の子どもたちに戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えてくれる。